

第17回 秋田県優良工事 地域振興局長表彰



令和6年10月4日

秋田県秋田地域振興局

(表紙写真)

第17回秋田県優良工事地域振興局長表彰

【左上】 株式会社田口建設 代表取締役 田口 悟

流域治水対策河川工事 04-KA11-10 一級河川 旭川

【右上】 有限会社エピック開発 代表取締役 小玉 正英

県単道路改築工事 04-I104-30 古井内大久保停車場線

【中央】 株式会社山水 代表取締役社長 加藤 慎一

長田地区予防治山工事 RD1114A023 長田地区

第17回秋田県優良工事地域振興局長表彰 選考委員会名簿

| | | |
|-------|----------|-------|
| 選考委員長 | 秋田地域振興局長 | 村田 詠吾 |
|-------|----------|-------|

| | | |
|------|----------------|-------|
| 選考委員 | 秋田地域振興局 総務企画部長 | 佐々木 琢 |
|------|----------------|-------|

| | | |
|------|--------------|-------|
| 選考委員 | 秋田地域振興局 農林部長 | 桜庭 憲光 |
|------|--------------|-------|

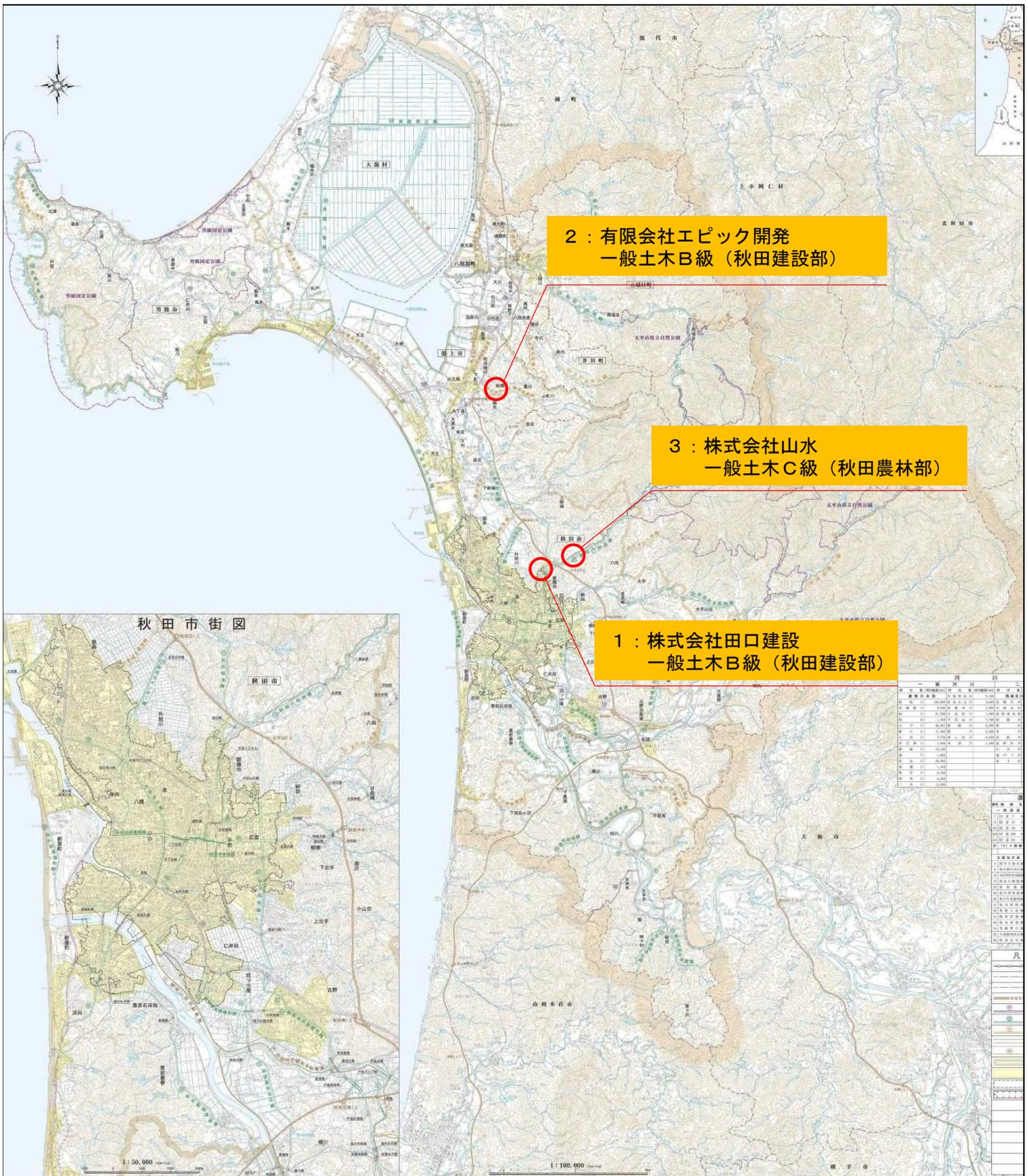
| | | |
|------|--------------|-------|
| 選考委員 | 秋田地域振興局 建設部長 | 鳴海 勝哉 |
|------|--------------|-------|

第 17 回秋田県優良工事地域振興局長表彰 表彰工事一覧

| 番号 | 商号 代表者名 格付 | 工事名 工事番号 請負額 | 路河川名 施工箇所名 | 監督 公所 |
|----|---------------------------------------|---|--------------------------------|------------|
| 1 | 株式会社田口建設 代表取締役 田口 悟 一般土木 B 級 | 流域治水対策河川工事 04-KA11-10 ¥31,279,600 | 一級河川 旭川 秋田市 濁川 地内 | 振興局 建設部 |
| 2 | 有限会社エピック開発 代表取締役 小玉 正英 一般土木 B 級 | 県単道路改築工事 04-I104-30 ¥17,094,000 | 古井内大久保停車場線 潟上市 昭和豊川槻木 地内 | 振興局 建設部 |
| 3 | 株式会社山水 代表取締役社長 加藤 慎一 一般土木 C 級 | 長田地区予防治山工事 RD1114A023 ¥17,380,000 | 長田地区 秋田市 添川 | 振興局 農林部 |

敬称略

第17回 秋田県優良工事地域振興局長表彰 施工位置図

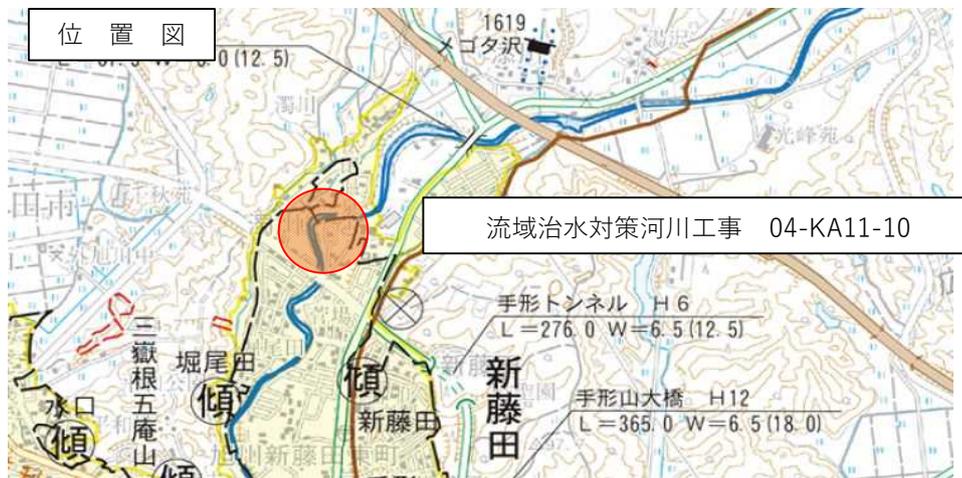


表彰工事の概要

| ◆工事概要 | | | |
|--|--|---|------------------|
| 工事名 | 流域治水対策河川工事 04-KA11-10 | | |
| 路河川名/地区名 | 一級河川 旭川 | 施工地名 | 秋田市濁川 地内 |
| 商号又は名称 | 株式会社田口建設 | | |
| 請負額 | 31,279,600 円 | 工種・格付 | 一般土木 B級 |
| 代表者 | 代表取締役 田口 悟 | 許可番号 | 秋田県知事許可 第003210号 |
| 現場代理人 | 佐々木 裕孝 | 主任技術者 | 佐藤 慎也 |
| 推薦公所 | 秋田地域振興局建設部 | | |
| 主任監督員 | 加藤 忍 | 監督員 | 山谷 拓也 |
| 工期 | 令和5年 4月 3日～ 令和6年 3月 8日 | 完成年月日 | 令和6年 3月8日 |
| 概要 | 1) 施工延長 L=63.0m 2) 法覆護岸工 A=390m ² 3) 根固工 N=135袋 4) 植生工 A=160m ² | | |
| 特徴 | 1) 勾配の変化により施工難易度の高い法覆工 2) 工事測量の結果により設計変更が生じた 3) 住宅密集地沿いの工事 | | |
| 写 真 | | | |
| 【着工前】  | | 【完成】  | |
| 下流側から上流方向を撮影  | | 上流側から下流方向を撮影  | |
| 熟練した技術により、美観良く工事を完成させた。 | | | |

◆現地調査の結果

- ・ 工事完成時と比較し構造物に変状は無く、良好な状態を保持している。



◆施工業者からのPR

- 1) 本工事は、①湾曲した法線であること、②勾配の変化(1:0.5~1:2.5)により法覆工が積ブロックから張ブロックに変化すること、③上下流に既設護岸があることから、施工難易度が非常に高く、熟練した技術が必要とする工事であったが、美観良く工事を完成させることができた。
- 2) 工事測量の結果、設計時に比べ河床の低下が著しいことから設計の見直しを提案した。設計変更が生じたことにより現場着手が遅れたが、工程のフォローアップを行うことにより、工期内に工事を完成させることができた。

◆選考委員会での選考結果

- 1) 湾曲部において法覆工の勾配を変化させるなど、施工難易度が高い工事であったが、出来ばえ良く仕上げしており、高い技術力を発揮している。
- 2) 施工ヤードに制限があるほか、工事測量の結果により設計変更が生じるなど、工事の遅れが懸念されたが、適切な工程のフォローアップを行い工期内に工事を完成させた。
- 3) 住宅密集地における工事であったが、苦情やトラブルが発生しなかった。

以上の理由により、本工事を優良工事地域振興局長表彰に選考する。

表彰工事の概要

| ◆工事概要 | | | |
|--|---|--|------------------|
| 工 事 名 | 県単道路改築工事 04-I104-30 | | |
| 路河川名/地区名 | 古井内大久保停車場線 | 施工地名 | 潟上市昭和豊川槻木 地内 |
| 商号又は名称 | 有限会社エピック開発 | | |
| 請 負 額 | 17,094,000 円 | 工種・格付 | 一般土木 B級 |
| 代 表 者 | 代表取締役 小玉 正英 | 許可番号 | 秋田県知事許可 第040321号 |
| 現場代理人 | 畠山 浩 | 主任技術者 | 畠山 健 |
| 推薦公所 | 秋田地域振興局建設部 | | |
| 主任監督員 | 堀井 克則 | 監 督 員 | 田口 竜成 |
| 工 期 | 令和 5年 8月 4日～ 令和 6年 3月15日 | 完成年月日 | 令和 6年 3月15日 |
| 概 要 | 1) 施工延長 L=148.2m、施工幅員 W=5.5(7.0)m 2) 道路土工 1式 3) 排水構造物工 1式 4) アスファルト舗装工 A=1,207m ² | | |
| 特 徴 | 1) 現道拡幅及び線形改良工事 2) 地域住民や企業との調整を必要とする工事 | | |
| 写 真 | | | |
|  <p>【着工前】</p> | |  <p>【完成】</p> | |
|  <p>側道からの出入りが視界不良</p> | |  <p>平面線形がS字状</p> | |
| <p>現道は幅員が狭く見通しが悪いことから、工事にあたっては安全の確保を必要とした。</p> | | | |

◆現地調査の結果

- ・ 工事完成時と比較し路面や排水構造物に変状は無く、良好な状態を保持している。



◆施工業者からのPR

- 1) 舗装時期が冬季間のため、ジェットヒーターで路面乾燥を行い品質確保に努めた。
- 2) 民家が隣接していることから、路盤材の飛散防止を目的に仮舗装を行った。
- 3) 工事中及び完成後、地区会長と立会い確認を行い、地域から苦情もなく工事を完成させた。

◆選考委員会での選考結果

- 1) 現道は幅員が狭く見通しが悪い道路であったが、供用しながら安全を確保し事故なく工事を完成させた。
- 2) 隣接企業の車両の出入りによる交通事故が懸念されたが、綿密に調整を図ったことにより、苦情も事故もなく工事を完成させた。
- 3) 現場周辺は民家が隣接しているが、積極的に地元調整を行い、苦情も事故もなく工事を完成させた。

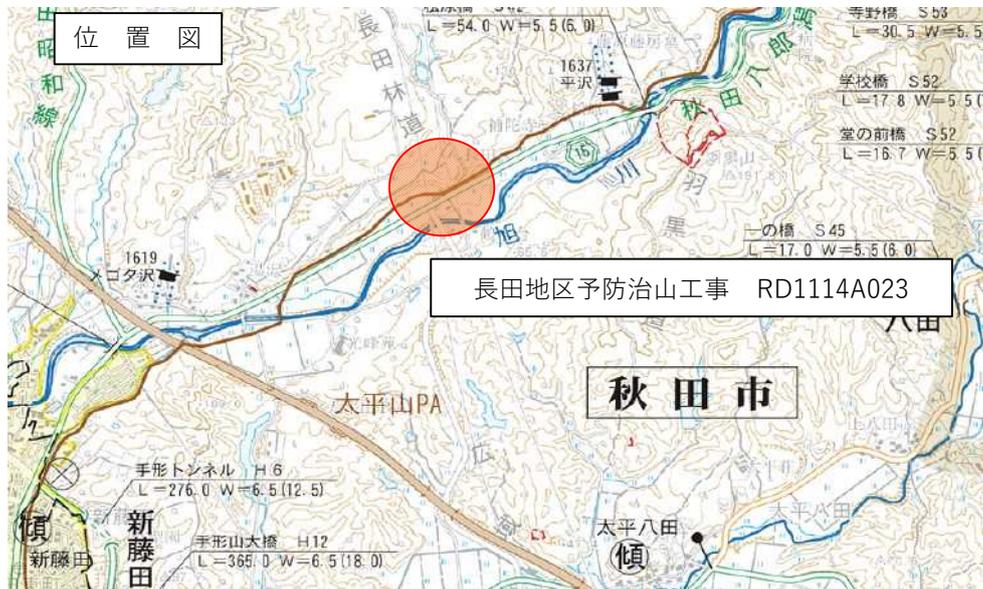
以上の理由により、本工事を優良工事地域振興局長表彰に選考する。

表彰工事の概要

| ◆工事概要 | | | |
|---|--|--|------------------|
| 工事名 | 長田地区予防治山工事 RD1114A023 | | |
| 路河川名/地区名 | 長田地区 | 施工地名 | 秋田市添川 |
| 商号又は名称 | 株式会社山水 | | |
| 請負額 | 17,380,000 円 | 工種・格付 | 一般土木 C級 |
| 代表者 | 代表取締役社長 加藤 慎一 | 許可番号 | 秋田県知事許可 第081430号 |
| 現場代理人 | 松岡 彰 | 主任技術者 | 松岡 彰 |
| 推薦公所 | 秋田地域振興局農林部 | | |
| 主任監督員 | 武石 直久 | 監督員 | 長田 雄太 |
| 工期 | 令和4年11月11日～ 令和5年9月28日 | 完成年月日 | 令和5年9月27日 |
| 概要 | 1) コンクリート土留工 N=3基 2) 水路工 L=93.8m 3) 暗渠工 L=16.0m 4) 簡易法枠工 A=129.0m ² 5) 伏工 A=101.3m ² | | |
| 特徴 | 1) 急勾配斜面での施工 2) 仮設進入路の対応 3) 埋蔵文化財包蔵地での対応 | | |
| 写 真 | | | |
|  <p>【着工前】</p> | |  <p>【完成】</p> | |
|  <p>仮設進入路の施工</p> | |  <p>豪雨災害による堆積土砂の撤去</p> | |
| 受注者による仮設進入路の提案 | | 豪雨災害の地元対応 | |

◆現地調査の結果

- ・ 工事完成時と比較し構造物に変状は無く、良好な状態を保持している。



現地調査写真



◆施工業者からのPR

- 1) 施工箇所が急傾斜に加え地形が変則であったため、中腹の土留工施工箇所への進入路の施工に苦慮した。現場状況を考慮し、進入路を模索した結果、山腹下部から大型土のうを敷詰め重機の走行面を作り、走行性を確保するため採石を敷均し進入路を施工した。
- 2) 現場区域が埋蔵文化財包蔵地であったため、施工に細心の注意を払った。
- 3) 私有林の伐採が発生した際は、速やかに所有者から了承を得て、滞りなく工事を遂行した。
- 4) 現場代理人を含め5人の作業員が得意な作業のリーダーシップをとり、工事を完成させることができた。今回の経験が今後の現場施工に繋がるものと前向きに捉えている。

◆選考委員会での選考結果

- 1) 急峻な斜面での山腹工事であり、仮設進入路が難しい現場であったが受注者の適切な提案により進入路を確保し、工事を完成させた。
- 2) 現場区域が埋蔵文化財包蔵地であったため、細心の注意を払いながら工事を進めた。
- 3) 山腹工事では立木を伐採する作業があったが、地権者とのトラブルもなく円滑に進めた。
- 4) 令和5年7月14日の豪雨災害では、現場隣接道路の堆積土砂撤去や用水路・排水路内の土砂撤去、近隣住民への声掛け等スムーズに対応していた。

以上の理由により、本工事を優良工事地域振興局長表彰に選考する。

**第17回 秋田県優良工事
地域振興局長表彰**

秋田県秋田地域振興局